

平成19年9月21日

お得意様各位

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

LX 財産評価プログラム-デモ版の送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

この度、「財産評価プログラム-デモ版」の申し込みを頂いているお客様に新規プログラムをお届け致しております。つきましては、同封の資料をご確認頂いてからご使用頂きますようお願い申し上げます。

尚、財産評価プログラム-デモ版の「無料」お試し期間は平成19年12月31日までです。デモ版をご評価いただいた上、是非正式版ご購入のご検討をお願い致します。

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

送付プログラム

- 平成19年 LX 財産評価プログラム-デモ版 CD-R 1枚

取扱説明書

- 簡易説明書（デモ版用） 1部

案内資料

- 同封物の解説 及びバージョンNO.一覧 1
- プログラムの更新作業の流れ 2
- [1001]プログラム登録 3 ~ 4
- [1000]プログラムの更新作業 5 ~ 7
- マルチクライアント・GP環境設定インストール方法 8 ~ 10
- [89]バックアップ方法 11

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願い致します。

尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00~12:00 PM1:00~3:30)

FAX 042-553-9901

以上

以下のCD-Rとフロッピーディスクを同封しています。



今回送付したCD-Rは

- ・LXのプログラム更新
 - ・Windowsの環境設定
- を1枚に入れて送付しています。

No.	ラベル名	枚数	備考
1	平成19年LX財産評価デモ版 GP5000環境設定	1	プログラムインストールCD-Rです。 財産評価プログラム-デモ版のみインストールします。 (使用期限は平成19年12月31日までです。)

ユーザ様専用フロッピー

No.	ラベル名	枚数	備考
1	会計事務所様専用 フロッピー	1	各事務所様専用フロッピーです。 [1001]を実行して下さい。

バージョンNo.一覧

下記のプログラムは[F 9] (申告・個人・分析) の2頁目に表示します。

PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
550	財産評価 H19デモ版	V-1.0	平成19年 財産評価デモ版プログラムです。 正式版と同様の操作でご利用いただけますが制限があります

デモ版の制限事項

- ・14:土地及び土地の上に存する権利の評価明細書(フリー版)はご利用いただけません。
フリー版は複雑な評価に対応する為に自由に作成できるようになっています。
また11:土地及び土地の上に存する権利の評価明細書で作成した土地どうしの加算、減算が行えます。
フリー版は、正式版で対応しています。
- ・取引相場のない株式の評価明細書はご利用いただけません
正式版では、第1表から第8表まで対応しています。
- ・ご利用可能期間は3ヶ月(平成19年12月31日まで)です。

評価版で作成したデータはそのまま正式版にてご利用になれます。

1. 様専用フロッピーの転送

今回すべてのお客様に 事務所様専用フロッピーを同封しています。
[1001]プログラム登録作業を実行して下さい。(P.3参照)

2. 財産評価プログラムデモ版の転送 - CD-R

『平成19年 LX財産評価デモ版』と書いてあるCD-Rを用意し、転送作業を行います。
転送作業は[1000]プログラム更新作業の順序に沿って行って下さい。(P.5参照)

3. マルチWin端末・環境設定の転送 - CD-R (2.と同じCD-Rです)

『GP5000環境設定』(2.で実行したCD-Rと同じもの)と書いてあるCD-Rを用意し
『端末機にセット』してインストール作業を行います。
端末機が複数台ある場合は、各機での作業が必要です。
転送作業は「GP環境設定インストール方法」に沿って行って下さい。(P.8参照)

4. 親機を再起動して下さい。

再起動しないと、旧システムのまま立ち上がり、次のバージョン確認が行えません。

5. バージョンの確認を行います。

プログラムの転送が正しく完了したかどうか、各端末機でバージョンを確認します。
(P.1参照)

6. バックアップ

各プログラムの転送作業が終了したら必ず**バックアップ**を行って下さい。
バックアップとは内蔵ハードディスクもしくは、外付けハードディスクへ財務・税務データを全てコピーする機能です。
転送作業を行った場合は、本日の業務の最後に必ず、**[F10] データ変換[89]バックアップ**を実行して下さい。詳しくはLX「電源の入れ方・切り方」の取扱説明書P.9もしくは本送付案内のP.11を参照して下さい。

単体でご利用のお客様は[89]ではなく、「LX-Backup」のアイコンから行います。

単体のお客様の場合



バックアップ作業をアイコンから行います。アイコンより実行して下さい。

「LX-Backup」のアイコン(絵)にマウスの矢印を合わせて左ボタンを2回押します。(ダブルクリック)



拡大図

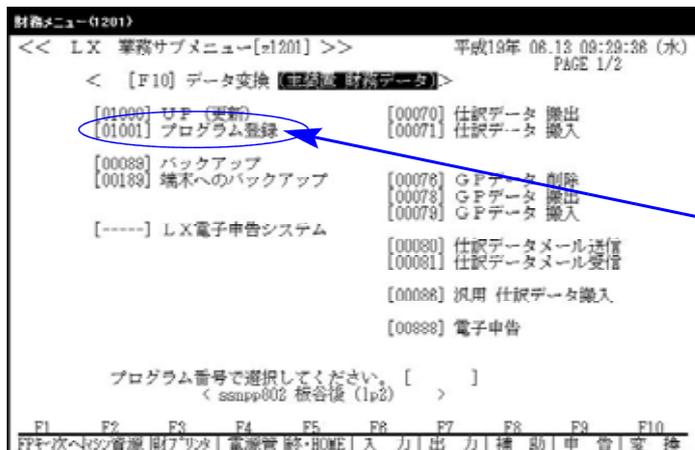
注意とお願い

ハードディスクに障害が発生した際にバックアップが実行されていない為、各顧問先のデータの復旧ができなかった例があります。
プログラム環境は復旧できますがデータバックアップがない状態では大切なデータを復元することができません。
必ずバックアップを実行して頂きますようお願い致します。

概要

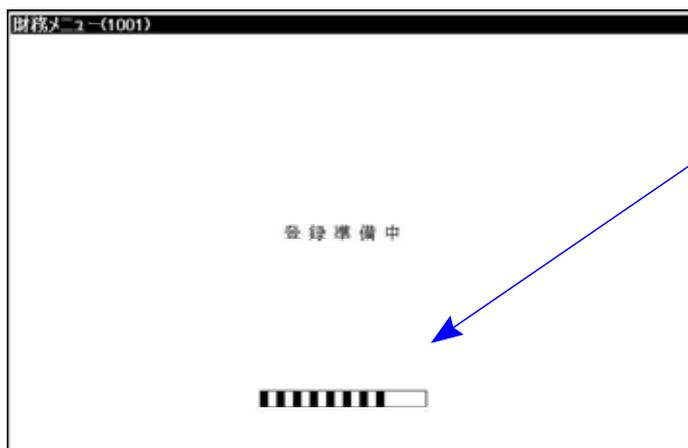
この作業は単体の機械又はネットワーク上の端末機で行います。
 端末機が複数ある場合でも、一回の作業でプログラム登録は完了です。

操作方法



1. 様専用 と書かれたフロッピー-を用意します。

2. F10 の[1001] プログラム登録を呼び出します。
 1001 Enter を押します。



3. 左図の画面が表示されます。
 準備中の為しばらくお待ちください。



4. 準備が終了すると左図の画面を表示します。

自動 (F3) を押します。

2005年8月以降納品の機械は端末FDで作業して下さい。(LX-TURBO10)



5. 左図の画面を表示します。

ホストマシン(親機)にF0ピク-をセットして「1:サーバFD」を指定します。

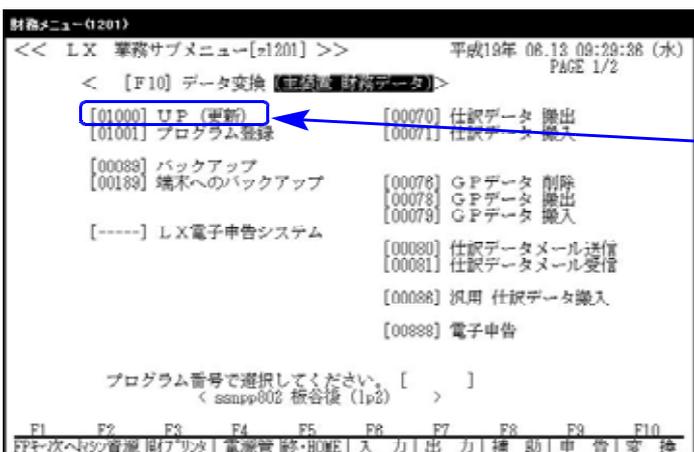
[1] [Enter] を押します。

2005年8月以降納品の機械の場合又はホストマシン(親機)にFDドライブがない場合は端末機にF0ピク-をセットして [2] [Enter] を押します。



6. プログラム登録作業が自動で行われます。「*」「+」等の表示が出ますが、そのまま「*** 登録完了 ***」の表示が出るまでしばらくお待ち下さい。

7. 「*** 登録完了 ***」の表示が出たら [終了] (F5) を押します。

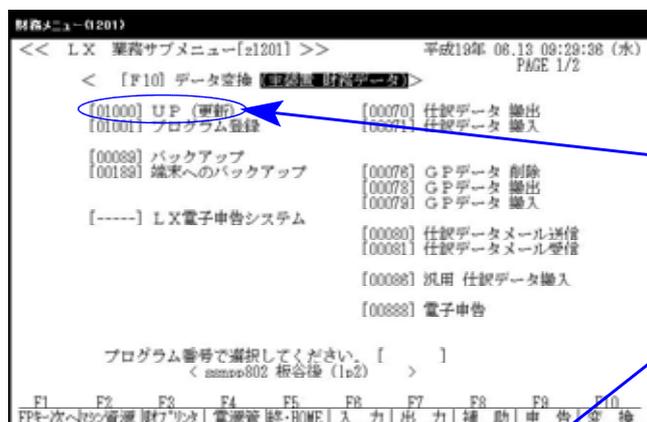


8. メニュー画面に戻ります。

続いて、[1000]U P (更新)作業を行います。

● 操作方法

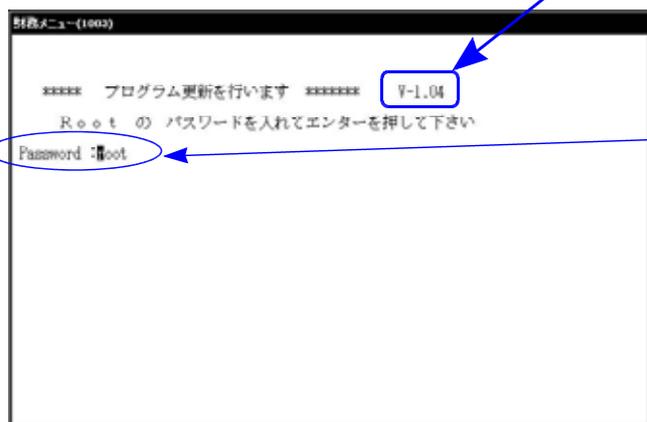
- ① 「平成19年 LX財産評価デモ版」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)** を呼び出します。

1000 **Enter** を押します。

左下図の画面を表示します。
バージョンが1.04以上であることを確認して下さい。



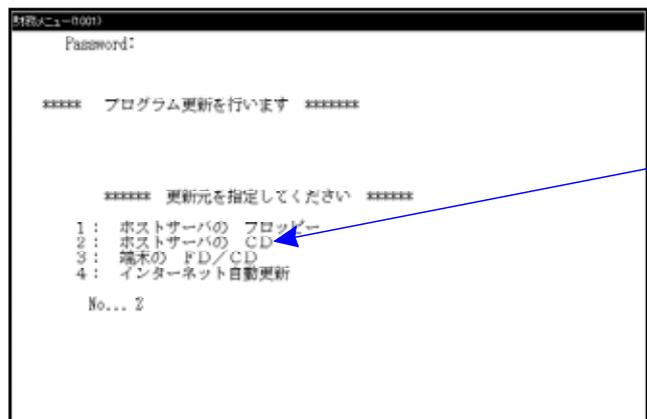
1.03以下の場合はシステムサービス課までお問い合わせ下さい。

・パスワードは **Enter** を押します。

- ※ ・2005年8月以降納品の機械(LX-TURB010) および
- ・単体でLXを使用している場合

以下は端末FD/CDで作業して下さい。

- ③ 下図の画面を表示します。

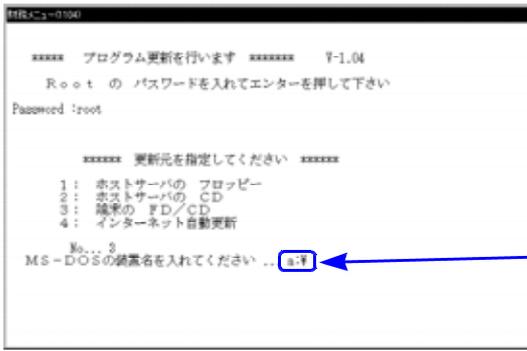


親機に「平成19年 LX財産評価デモ版」と書いてあるCD-Rをセットして『2』ホストサーバのCDを選択します。

2 **Enter** と押します。

※2005年8月以降納品の機械、LXを単体で使用及びホストマシン(親機)にCD-ROMドライブがない場合は端末機にフロッピーをセットして **3** **Enter** を押します。

《 3: 端末のFD/CDを指定した場合 》

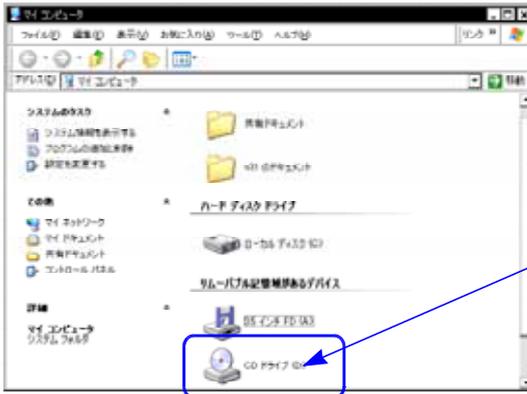


3: 端末のFD/CDを選択すると『MS-DOSの装置名を入れてください..a:¥』と表示されますので、CD-ROMのドライブ名を入力します。

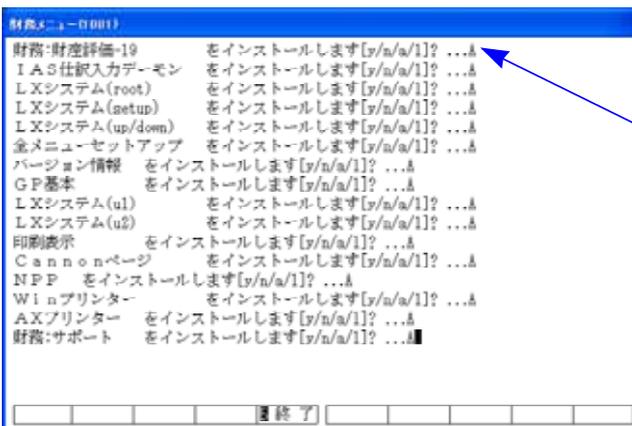
Dドライブの場合『d』と入力します。『d:¥』と表示されたら、Enter を押します。
※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認して下さい。

CD-ROMのドライブ名の確認方法

マイコンピュータを開きます。CD-ROMのドライブを確認して下さい。



左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



- ④ インストールを実行します。
左図の1行目の画面を表示します。『○○○をインストールします[y/n/a/1?...]』
a 又は **1** を選択します。
※誤って、**y** を選択した場合は2行目で **a** 又は **1** を選択して下さい。

- ⑤ 終了が出た後しばらくお待ち下さい。



- ⑥ しばらくしますと左図の画面を表示します。
CD-Rを本体から取り出して下さい

他の端末が起動していないことを確認して**実行**(F3)を押します。

※ここに複数表示する場合は他の端末が動作中です。一旦終了して下さい。
1台のみの場合は現在作業している機械ですので**実行**(F3)を押して下さい。



⑦ 再度しばらくお待ち下さい。

左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的にマルチインドゥ端末が終了します。

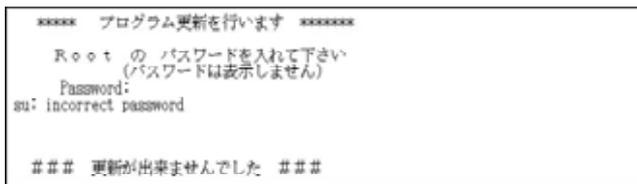
⑧ 単体の場合はLXシステムを終了し、Windows画面、もしくは『LXランチ』まで戻ります。

ネットワークの場合は親機の電源が切れるまでしばらくお待ち下さい。

⑨ 再度LXを起動します。

※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

● 更新ができない場合



I. パスワードが違っている場合には、左図のエラーを表示します。最初から操作して下さい。



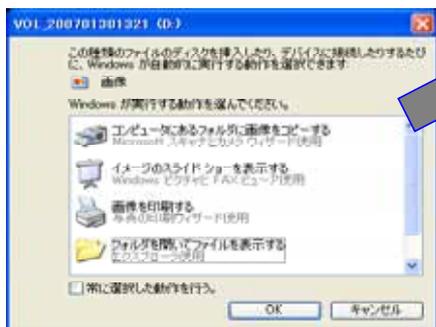
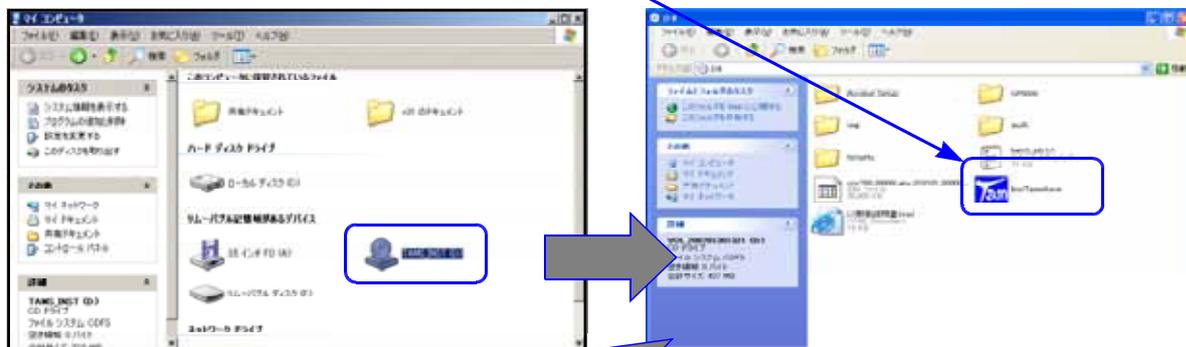
II. フロppy-又はCD-Rが親機にセットしていない場合には、左図のエラーを表示します。フロppy-又はCD-Rをセットし、最初から操作して下さい。

転送前の確認事項

インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。(マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。) 終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

各プログラムのインストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

1. 今回送付した平成19年LX財産評価デモ版のCD-Rを用意し、端末機にセットします。
2. マイコンピュータをダブルクリック CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので『InstTams4.exe』をダブルクリックします。

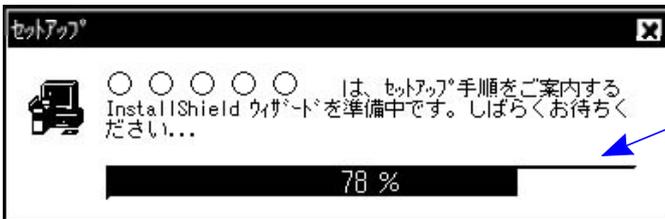


CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダ』を開いてファイルを表示する』を選択してOKにマウスの矢印を合わせて左ボタを1回押すと右上の画面を表示します。



3. マルチウィンドウ端末『更新』にマウスの矢印を合わせて左ボタを1回押します。新規用は機械が故障した際に使用します。選択した場合はエラーを表示します。尚、既に3.10にバージョンアップされている方は手順10. から実行して下さい。

次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。



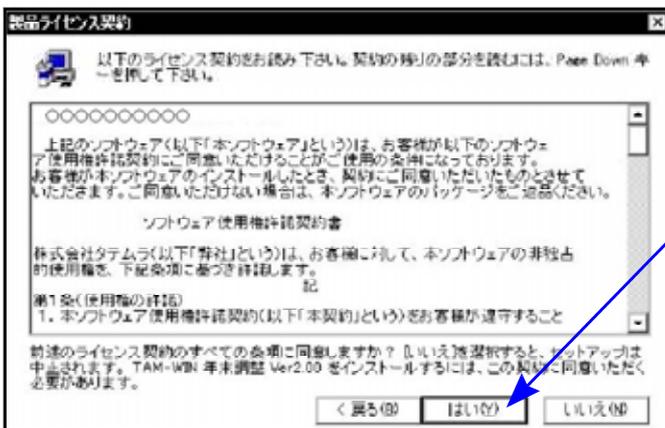
4. 左図の画面を表示します。

「100%」になるまでお待ち下さい。



5. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせ
左ボタを1回押します。(クリック)

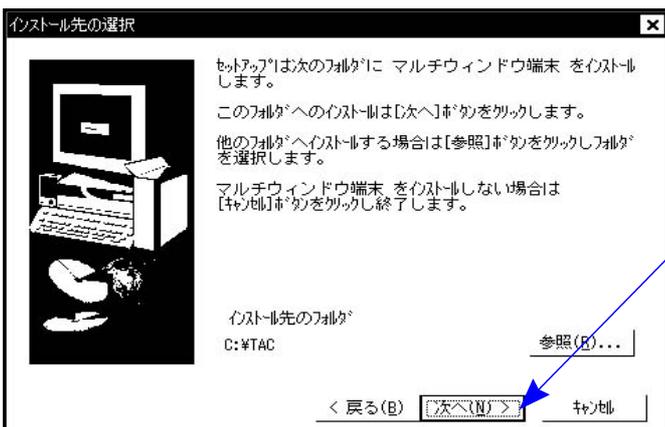


6. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「はい」に合わせ
左ボタを1回押します。(クリック)

財産評価の環境設定ではこの
対話を表示しません。

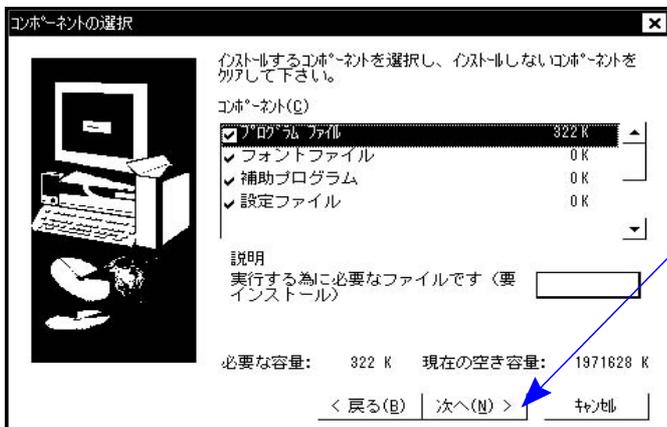
7.へ



7. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせ
左ボタを1回押します。(クリック)

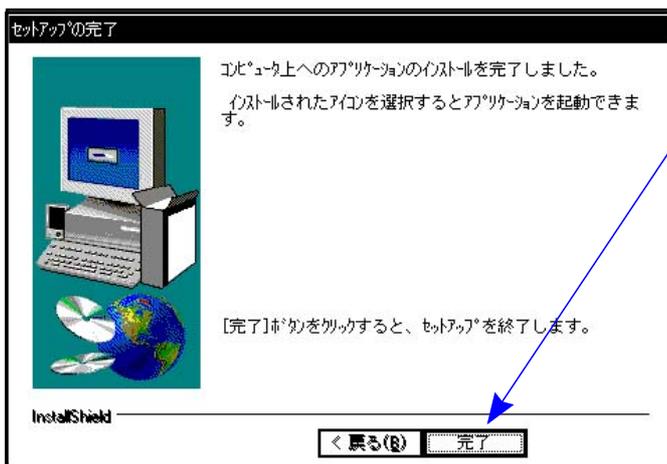
しばらくお待ち下さい



8. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい



9. 「セットアップ完了」と表示したら
マウスの矢印を「完了」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)



10. 左図の画面に戻ります。

次に、『平成19年 LX財産評価デモ版』
の環境設定をインストールします。
プログラム名の右横の『新規』にマウスの矢印
を合わせて左ボタンを1回押します。

11. P.9『4.』からの作業を実行します。

12. すべてのインストールが終了したら、マウスの
矢印を「閉じる」に合わせて左ボタンを1回
押します。

13. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して
下さい。

以上でインストール作業は終了です。

[89]バックアップ ~サーバー用~

単体の場合は案内P.2を参照して下さい

F10

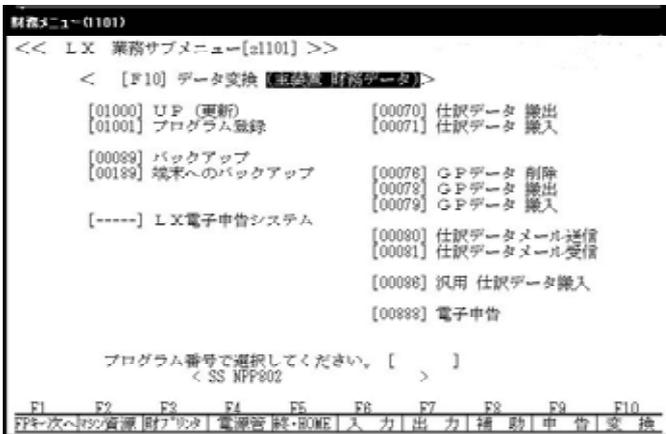
サーバーの場合、内蔵でハードディスクが2台設置してあります。
(タワー型のみ常に2台にデータを書き込み、どちらか一方が故障した場合でも他方より立ち上がるようになっています。これはバックアップではありませんのでご注意ください。)

サーバーには機械内部に抜き差しできる控えのハードディスク又は外付けのハードディスク、ノート型には外付けのハードディスクへバックアップをとることができます。
(外付けハードディスクがなく、バックアップディスクが必要な場合はサービス課までお問い合わせ下さい。)

バックアップはとても重要です。万が一機械が故障した際に復旧する為の**復旧元**になりますので必ず毎日バックアップを行って下さい。

バックアップされているところまでが復旧の対象となります。

バックアップを行っていない場合は、データの復旧だけでなくプログラムの復旧にもかかわってきます。古い状態にプログラムが戻ってしまった場合、プログラム更新料が別途かかりますので、必ずバックアップを行って下さい。



1. **F10** データ変換の画面を呼び出します。

2. **[89]** バックアップを選択します。
[89] **Enter** を押します。



3. 左図の画面を表示します。

- ・パスワードがrootの場合は **Enter**
- ・ " root以外の場合は **パスワード** **Enter** を押します。



4. 左図の画面を表示します。

- 何度もバックアップを行っている場合 1.フォーマットなし
初めてバックアップを行う場合 2.フォーマットあり

を選択します。

LX のお客様にはフォーマットはございません。

5. バックアップが終了すると、**F10**のメニュー画面に戻ります。